

神奈川県と共同で「大規模災害への備え」について啓発！

～県民の防災知識・意識向上を図るため、「防災・地震保険チラシ」を共同作成～

日本損害保険協会関東支部神奈川損保会(会長:島田 和宏(損害保険ジャパン株式会社 横浜中央支店長))では、今般、神奈川県くらし安全防災局防災部危機管理防災課と連携して、大規模災害への平時からの備えと「地震保険」について解説した「防災・地震保険チラシ」を共同作成しました。

「防災・地震保険チラシ」は、2部構成となっており、表面は、県危機管理防災課より、「大規模災害に備えよう!」とのタイトルで、「1. あらかじめ自宅や学校、勤務先等の周りの危険な場所などを確認しておきましょう」「2. 自宅の点検をしてみましょう」「3. 県作成の防災コンテンツを活用してさらなる事前の備えを進めましょう」という3つのポイントをチェックしてもらったうえで、LINE公式アカウント「かながわ防災パーソナルサポート」を友だち追加して、平時から大規模災害に備えていただきたいことを伝えています。

裏面は、神奈川損保会より、「地震保険に加入しましょう!」とのタイトルで、家屋被害からの再建には「公的支援+α」が重要であり、公助(公的な支援金等)だけでは不足する場合があることや、地震による火災や倒壊等の損害は火災保険では補償されないことから、いざという時に備えて「地震保険」に加入しておくことが必要であることを、地震保険の概要を含めて解説しています。

今後、本チラシを有効活用し、県では各種防災イベントへの出展や参加の際に配布していくこと、神奈川損保会では代理店を通じて顧客等に幅広く提供すること、また双方のホームページへの掲載等データ活用を図る等、協力して県民に防災知識について啓発していくこととしています。

神奈川県における地震保険の火災保険への付帯率は、直近 2025 年度末データで「64.2%」と全国平均の70.8%を大きく下回り、ワースト4位となっています。当支部では、今後も引き続き行政機関等と連携して、住民の防災意識の向上ならびに地震保険の理解促進と普及向上に向けて鋭意取り組んでいきます。



【チラシ表面 (大規模災害への備え)】



【チラシ裏面 (地震保険への加入)】

※リーフレットは、以下 URL よりダウンロードいただけます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kanto/2026/pdf/2610_chirashi.pdf